

| 2 年 | | | | | |
|-----|----------|-----------------|-------------|---|---|
| 学期 | 月 | 主題名 | 項目 | 指導内容 | ねらい |
| 1 | 4 | 自分の弱さの克服 | D-(22) | よりよく生きる喜び | 自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さをもち、人間として気高く生きようとする態度を育む。 |
| | 4 | 働くということ | C-(13) | 勤労 | 勤労は個人の生活の維持や幸福追求と同時に、社会的分業によって社会に貢献していることを自覚し、勤労に対する意欲を高める。 |
| | 5 | 心を形に | B-(7) | 礼儀 | 心と形が一つになった礼儀や作法の意義に気づき、相手を尊重する心を込めて、形に表していこうとする態度を養う。 |
| | 5 | 支え合う生命 | D-(19) | 生命の尊さ | 命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。 |
| | 5 | 諦めない心 | A-(4) | 希望と勇氣、克己と強い意志 | 自らを信じ希望をもって、困難や失敗などの逆境を乗り越え、目標に向かって努力し続けようとする態度を養う。 |
| | 5 | 自分を信じて | A-(1) | 自主、自律、自由と責任 | 自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする判断力を育成する。 |
| | 6 | 本当の友達 | B-(8) | 友情、信頼 | 互いに励まし合い、高め合う本当の友達をつくらうとする態度を育てる。 |
| | 6 | 個性を尊重する社会 | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める心情を育む。 |
| | 6 | 真実を追い求める | A-(5) | 真理の探究、創造 | 真理や真実を求め、理想の実現をめざして、よりよく生きようとする態度を育てる。 |
| | 6 | 国際社会の一員 | C-(18) | 国際理解、国際貢献 | 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。 |
| | 7 | 規則の役割 | C-(10) | 遵法精神、公德心 | 互いに住みよい社会をめざす精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。 |
| | 7 | 地域の祭りの大切さ | C-(16) | 郷土を愛する態度 | 郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の一員としての自覚をもって、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲や態度を育てる。 |
| 2 | 9 | インターネット上の責任ある言動 | A-(1) | 自主、自律、自由と責任 | 誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動しその結果に責任をもとうとする態度を育てる。 |
| | 9 | 自然の偉大さ | D-(21) | 感動、畏敬の念 | 自然の美しさや神秘さ、偉大さを感じ、人間の力を遥かに超えたものに対する畏敬の念を深め、豊かな心を育てる。 |
| | 9 | 自己を見つめる | A-(3) | 向上心、個性の伸長 | 人それぞれ必ずその人固有のよさがあり、その発見と自己受容・自己理解に努め、自分らしさを発揮できる生き方を求める。 |
| | 9 | 社会への貢献 | C-(13) | 勤労 | 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労をととして社会に貢献しようとする態度を養う。 |
| | 10 | 輝く生命 | D-(19) | 生命の尊さ | かけがえのない命を与えられていることに気づいて感謝し、自他の生命を尊重しようとする実践意欲を培う。 |
| | 10 | 社会のためにできること | C-(12) | 社会参画、公共の精神 | 社会参画の意識を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。 |
| | 10 | 日本人としての誇り | C-(17) | 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | 国際社会に生きる日本人としての自覚をもち、我が国を愛する心情を育てる。 |
| | 10 | 人の思いやりへの感謝 | B-(6) | 思いやり、感謝 | 人間は多くの人々の善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気づき、感謝する態度を育てる。 |
| | 11 | 初心に返る | A-(4) | 希望と勇氣、克己と強い意志 | 目標や希望をもって生活することの大切さや意義を理解し、その達成をめざし、困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする態度を育てる。 |
| | 11 | 真の友情 | B-(8) | 友情、信頼 | 生涯にわたる尊敬と信頼に支えられた真の友情について深く理解し、互いに認め高め合う友情を育もうとする態度を育てる。 |
| | 11 | 私たちがつくる校風 | C-(15) | よりよい学校生活、集団生活の充実 | 集団で協力し合う大切さに気づき、狭い仲間意識を超えよりよい校風をつくらうとする意欲を育てる。 |
| | 11 | いじめへの公正な態度 | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | 偏見を正し正義を貫こうと決意する主人公「僕」の姿に共感することをおして、正義を重んじ、偏見や差別をなくしていこうとする態度を育てる。 |
| 12 | わかり合うこと | B-(9) | 相互理解、寛容 | 人にはさまざまな考え方があることを理解し、自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他に学ぶようとする謙虚な態度を育てる。 | |
| 12 | 法やきまりの意義 | C-(10) | 遵法精神、公德心 | きまりは幸福な社会を実現するためにあるということ認識し、それを遵守しようとする判断力を育む。 | |
| 3 | 1 | 自然環境を守る | D-(20) | 自然愛護 | 人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を受けており、その有り難さに感謝するとともに、自然を守り行動しようとする態度を育む。 |
| | 1 | 真の国際協力 | C-(18) | 国際理解、国際貢献 | それぞれの国の伝統と文化に各国民が誇りをもっていることを理解し、その上で日本人として国際協力を積極的に行おうとする態度を培う。 |
| | 1 | 美しいきたり | C-(12) | 社会参画、公共の精神 | 「門掃き」をおして、社会連帯の根底にある相互扶助や思いやりの心を知ることにより、よりよい社会を生み出す主体者として行動しようとする実践意欲を養う。 |
| | 2 | 日本文化の心 | C-(17) | 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | 我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、そこに込められた「日本人の心」に気づき、大切にしようとする心情を育てる。 |
| | 2 | 懸命に生きる | D-(19) | 生命の尊さ | 限りある生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする心情を養う。 |
| | 2 | 強く気高く生きる | D-(22) | よりよく生きる喜び | 人間にある弱さと醜さを自覚しながらも、強く気高く、人間として生きる喜びを見出そうとする態度を深める。 |
| | 2 | 友情と好意 | B-(8) | 友情、信頼 | 悩みや葛藤を乗り越えることで真の友情は培われるものであることを理解し、相手に信頼される自分になるようとする実践意欲を高める。 |
| | 3 | 節度・節制の大切さ | A-(2) | 節度、節制 | 節度ある生活や節制を心掛けるために、周りの人の生活を見つめることで自分の生活を見直し、思慮深く内省しようとする態度を養う。 |
| 3 | 家族のきずな | C-(14) | 家族愛、家庭生活の充実 | 自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気づき、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。 | |